

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	くらしの便利帳作成事業	コード	05-01-01-07
		担当課・係	企画課・行政改革係
		担当者	神田順平
事業実施期間	平成17年度～平成18年度	電話	0869-64-1872
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	市民主体で進めるまちづくり	
	中項目(基本施策)	広聴広報	
	小項目(施策)	広報活動の充実	

事業について	
目的 (何のために)	市民の皆様が、生活の様々な場面で遭遇する「公的な疑問」(のときはどうしたらいいの??) を、簡単に解決するため、また、市役所の相談窓口がどこなのかを分かりやすくご案内することを目的とするため、くらしの便利帳を作成する。
対象 (誰・何を対象に)	公的な疑問を抱えた「市民」・市役所の相談窓口や担当課を調べる「市民」
内容	くらしの便利帳を作成。 全戸配布(広報に綴じ込み)。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
くらしの便利帳作成	-	1 回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等			
	人件費	委託費負担	人件費	委託費負担	人件費	委託費負担	人件費	委託費負担			
	2,700		2,700	1,880	1,879	2,635	2,636	0			
合計	2,700	一般財源等	2,700	合計	4,515	一般財源等	2,636	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.20 人	0.26 人	
結果指標名	便利帳の作成	便利帳の作成	
結果指標量	17,000	17,000	
単位	冊	冊	
対前年比	-	皆増	0.00%
活動にかかるコスト	2,700,000 円	4,514,500 円	
単位当たりコスト	円	266 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	市民の皆様が、生活の様々な場面で遭遇する「公的な疑問」(のときはどうしたらいいの??) を、簡単に解決する。また、市役所の相談窓口や担当課がどこなのかを分かりやすくご案内する一助となるよう「くらしの便利帳」を作成し配布する。		
成果指標名	配布戸数	式又は説明	全戸配布
	17年度	18年度	
成果指標量	17,000	17,000	
対前年比	-	皆増	
到達目標値	17,000	到達目標年度	平成18年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等：)	妥当性評価<A~E>	B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	合併を機に新市の業務案内や情報を提供し、市民の利便性を高めるとともに生活の様々な場面で遭遇する「公的な疑問」の解決や市の相談窓口を分かりやすく案内するために妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	D
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	インターネットの利用者も考慮し、HPでも掲載している。今後はタイムリーな行政組織改正(制度や機構)の情報提供が必要ことから発行の間隔、発行部数等を考える必要がある。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	目標年度に作成し、各戸に配布することができた。しかしながら、行政組織改正が頻繁に行われている今日では、市政のタイムリーな情報提供が必要であることから冊数や他の方法等も視野に入れた市民へ周知方法を検討する必要がある。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度状況		説明		
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了			
目標値	結果指標量	-	結果指標量	-
	成果指標量	-		-

総合評価	市政のタイムリーな情報発信が必須条件であり、合併直後に作成・配布することが望ましかった。今後の発行は復数年に1度であるかないかであるが、行政組織改正が頻繁に行われている今日では、掲載内容と制度が合致しなくなる場合があるため、他の周知方法を検討する必要がある。	評価区分<A~E>	D
------	---	-----------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果